事例番号:380183

# 原 因 分 析 報 告 書 要 約 版

産 科 医 療 補 償 制 度
原因分析委員会第七部会

## 1. 事例の概要

### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 32 週 3 日

5:10　羊水流出感あり搬送元分娩機関受診

5:30- 胎児心拍数陣痛図で高度変動一過性徐脈あり

7:38　前期破水のため当該分娩機関へ母体搬送され入院

### 4) 分娩経過

妊娠 32 週 3 日

10:43　前期破水、胎児機能不全のため帝王切開により児娩出

胎児付属物所見 臍帯過捻転あり、胎盤病理組織学検査で癒合臍帯動脈あり

### 5) 新生児期の経過

⑴ 在胎週数:32 週 3 日

⑵ 出生時体重:1400g 台

⑶ 臍帯静脈血ｶﾞｽ分析:pH 7.35、BE -8.7mmol/L

⑷ ｱﾌﾟｶﾞｰｽｺｱ:生後 1 分 4 点、生後 5 分 8 点

⑸ 新生児蘇生:人工呼吸(ﾊﾞｯｸﾞ・ﾏｽｸ)

⑹ 診断等:

出生当日 早産児・極低出生体重児・新生児一過性多呼吸

⑺ 頭部画像所見:

4 歳 1 ヶ月　頭部 MRI で脳室周囲白質軟化症の所見

### 6) 診療体制等に関する情報

〈搬送元分娩機関〉

⑴ 施設区分:診療所

⑵ 関わった医療ｽﾀｯﾌの数

医師:産科医 1 名

看護ｽﾀｯﾌ:助産師 1 名

〈当該分娩機関〉

⑴ 施設区分:病院

⑵ 関わった医療ｽﾀｯﾌの数

医師:産科医 2 名､小児科医 1 名､麻酔科医 1 名､研修医 1 名

看護ｽﾀｯﾌ:助産師 1 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

⑴ 脳性麻痺発症の原因は､出生までのどこかで生じた胎児の脳の虚血(血流量の減少)により脳室周囲白質軟化症(PVL)を発症したことであると考える。

⑵ 胎児の脳の虚血(血流量の減少)の原因を解明することは困難であるが､臍帯圧迫による臍帯血流障害の可能性を否定できない。

⑶ 胎盤機能不全が PVL 発症に関与した可能性がある。

⑷ 早産期の児の脳血管の特徴および大脳白質の脆弱性が PVL 発症の背景因子であると考える。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価(2020 年 4 月改定の表現を使用)

### 1) 妊娠経過

搬送元分娩機関における妊娠中の管理は一般的である。

### 2) 分娩経過

⑴ 妊娠 32 週 3 日､前期破水と診断し母体搬送としたことは一般的である。

⑵ 当該分娩機関における母体搬送受け入れ後の管理(分娩監視装置装着､超音波断層法実施､ﾍﾞﾀﾒﾀｿﾞﾝﾘﾝ酸ｴｽﾃﾙﾅﾄﾘｳﾑ注射液投与､血液検査)は一般的である。

⑶ 前期破水､胎児機能不全のため帝王切開を実施したことは一般的である。

⑷ 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生(ﾊﾞｯｸﾞ･ﾏｽｸによる人工呼吸)は一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

⑴ 搬送元分娩機関

なし。

⑵ 当該分娩機関

なし。

2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

⑴ 搬送元分娩機関

なし。

⑵ 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

⑴ 学会･職能団体に対して

早産児の PVL 発症の病態生理､予防に関して､更なる研究の推進が望まれる。

⑵ 国･地方自治体に対して

なし。